

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	1311051000594
施設名	BunBu学院Jr.中目黒園
施設所在地	東京都目黒区青葉台1-15-14
法人名	株式会社BunBuKids

1. 活動のテーマ

<テーマ>

五感

<テーマの設定理由>

本園では、子どもたちが実際の体験を通して学びを深めることを大切にしている。日頃から食べ物や自然に興味を示す子どもたちの姿が見られたため、自然の中での体験活動として「わくわくビレッジ」での飯合炊飯を企画した。火を使ってご飯を炊く体験や自然環境の中での活動を通して、子どもたちが五感を使いながら新しい発見や気づきを得ることをねらいとした。

2. 活動スケジュール

①出発・現地到着

わくわくビレッジへ移動し、施設の説明や安全確認を行った。

②体験活動

飯合炊飯の様子を観察しながら、火の様子や炊き上がるまでの過程を体験した。

③食事・交流

炊き上がったご飯を味わいながら、自然の中で食事を楽しんだ。

④振り返り

園に戻ってから子どもたちと体験を振り返る時間を設けた。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）

飯合炊飯に必要な道具や材料は施設側と連携して準備し、安全に体験できる環境を整えた。子どもたちが火や炊飯の様子を見やすい位置から観察できるよう配置を工夫し、保育者が側で見守りながら活動を行った。また、小さな子どもも同じ場の雰囲気を感じられるよう配慮した。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

活動では、子どもたちが火の様子や炊き上がる過程を観察しながら体験を行った。「煙が出ているね」「いい匂いがするね」などの声も聞かれ、五感を通して自然や食への興味を広げる姿が見られた。保育者は子どもたちの気付きに寄り添いながら声掛けを行い、探究心を引き出すよう関わった。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

活動中は、火を見て「すごい」「あったかいね」など驚きの声を上げる姿や、ご飯が炊き上がる様子を興味深く見つめる姿が見られた。友だちと一緒に「煙が出てる」「いい匂いだね」と会話を交わす場面も多く見られ、体験を共有することで子ども同士の関わりが広がっていた。保育者は子どもたちの発見や気付きを言葉にしながら共感し、安心して体験できるよう見守った。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

今回の活動では、実際に自然の中で体験することで子どもたちの興味関心が大きく広がる様子が見られた。特に火や食べ物に対する関心が高く、「どうやってできるの?」といった疑問も多く見られた。今後もこの体験をきっかけに、食育活動や自然体験などへとつなげ、子どもたちの探究心を継続的に育てていきたいと感じた。